

倉田山中学校 2年生 社会科 学習案内

1 目標

・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

・日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現代に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

2 学習の進め方

使用教科書	新しい社会 地理(東京書籍)、中学社会「歴史的分野」(日本文教出版) 中学校社会科地図(帝国書院)
副教材	よくわかる社会の学習地理2(明治図書)、よくわかる社会の学習歴史2・3(明治図書) 紙ファイル(授業プリントを綴じるため)、伊勢市地図
学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう	
○授業への取組	
・我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりして、時代の区分やその移り変わりに気付き、歴史を学ぶ意欲を高め、我が国の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特徴を踏まえて理解しよう。	
・歴史上の出来事や、伝統や文化の特色を、時代や年代、相互の関連や、現代とのつながりに着目して学習し、学習したことを活用し、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、考えたことを説明したり、それを基に議論したりする力を身に付けよう。	
・地理的分野では地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取り、活用して事象を説明したり、自分の考えを発表したりしよう。	
・歴史上の人物や、身近な地域の歴史上の人物に対して興味・関心を持ち、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて時代的背景と関連付けて考えよう。	
○家庭学習の例	
・歴史的分野では、身近な地域の歴史を調べる活動で、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めよう。	
・新聞やテレビの報道を見るなどして、日頃から社会の動きに関心を高めよう。	
○定期テストへの取組の例	
・授業で学習したことを、ワーク・教科書・授業プリント等を活用して復習しよう。	

3 評価について

観 点		評価の場面・方法
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられたかどうかを見ます。	・テスト ・発表の内容
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えたかどうかを見ます。	・テスト ・発表の内容 ・レポート等の内容
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えたかどうかを見ます。	・授業への取り組み方 ・テスト・発表の内容 ・レポート等の内容

4 学習内容について

	テスト	単元	評価の規準
一 学 期		日本の様々な地域 ○地域調査の手法 ○日本の地域的特色と地域区分 ※「地域調査の手法」については、順番を入れ替えて夏休み前後に実施します。	【知識・技能】 ・日本の諸地域について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ・日本の諸地域について、自然環境、交通・通信、人口と都市・村落、産業、生活・文化などを中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の諸地域の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、交通・通信、人口と都市・村落、産業、生活・文化などを中核に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本の諸地域において、自然環境、交通・通信、人口と都市・村落、産業、生活・文化などの事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の生活などと関連付けて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の諸地域の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、その地域的特色ある事象に関心を持ち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ・日本の諸地域について、持続可能な社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究している。
二 学 期	1学期 期末 2学期 中間	日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 ○地域の在り方	【知識・技能】 ・日本の諸地域について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ・日本の諸地域について、自然環境、交通・通信、人口と都市・村落、産業、生活・文化などを中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の諸地域の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、交通・通信、人口と都市・村落、産業、生活・文化などを中核に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本の諸地域において、自然環境、交通・通信、人口と都市・村落、産業、生活・文化などの事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の生活などと関連付けて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の諸地域の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、その地域的特色ある事象に関心を持ち、設定した探究課題を基

三 学 期	2学期 期末	近世の日本と世界 ・中世から近世へ ・江戸時代の成立と東アジア ・産業の発達と元禄文化 ・幕府政治の改革と農村の変化	に地域的特色を意欲的に追究している。 ・日本の諸地域について、持続可能な社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究している。 【知識・技能】 ・近世の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近世の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近世の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近世の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・近世の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近世の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。
	学年末	近代の日本と世界 日本の近代化 ・欧米の発展とアジアの植民地化 ・近世から近代へ ・近代国家へのあゆみ ・立憲制国家の成立 ・日清日露の戦争と東アジアの動き ・近代の日本の社会と文化	【知識・技能】 ・近代（前半）の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近代（前半）の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代（前半）の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近代（前半）の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・近代（前半）の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近代（前半）の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。

＊1年生3学期に実施した歴史の授業（建武の新政から室町時代）の範囲については、定期テストを実施していないため、2年生のどこかの定期テストで、この範囲の内容も出題をします。